

いまはし

そんしょう

今橋 尊勝

明治4年（1871）～明治42年（1909）

大阪府澁川郡久宝寺村（現 八尾市）出身



日露戦争では戦場で多くの犠牲者が出たが、帰還した戦傷者についても社会問題化した。豊橋に設置されていた歩兵第18聯隊でも1,800人を超える戦傷者を出していた。

豊橋下地の聖眼寺22世今橋尊勝は、寄付者を募って明治38年（1905）、「軍人保護院」を設立する。戦傷者や困窮していた軍人、またその家族を保護することをめざし、私財と自身の健康をなげうって收容所と授産所を運営した。尊勝没後の大正4年（1915）に閉鎖するまで10年余りで300余家族を救済した。

軍人保護院を設立した 僧侶